

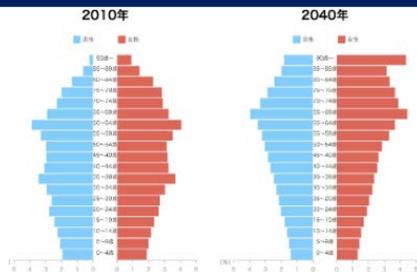
RESAS (リーサス) とは？

(地域経済分析システム : Regional Economy Society Analyzing System)

地域経済に関する様々なビッグデータ (産業の強み、人の流れ、人口動態など) を、
地図やグラフで分かりやすく「見える化 (可視化)」したシステム。

- ✓ インターネットで誰でも利用可能！
- ✓ 誰もが直感的に使える、分かりやすい画面操作！
- ✓ データに基づいて、地域の実情を把握・分析できる！

①人口マップ



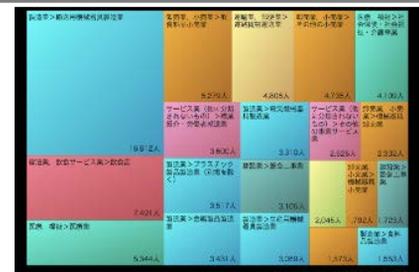
人口推計・推移、人口ピラミッド、
転入転出など

②地域経済循環マップ



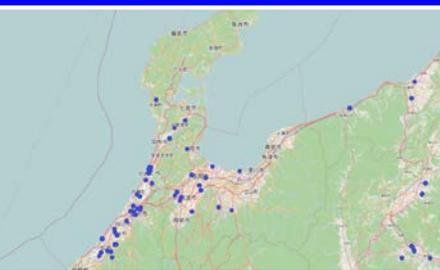
自治体の生産・分配・支出における
お金の流れなど

③産業構造マップ



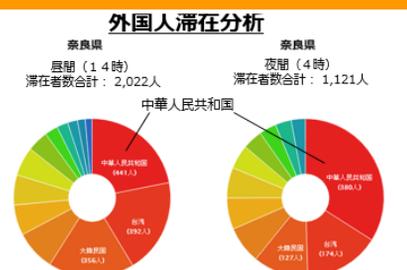
産業の構成、雇用・売上で地
域を支える産業など

④企業活動マップ



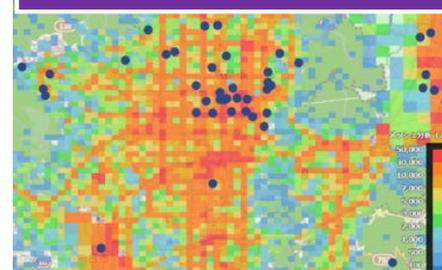
地域の創業比率、特許分布、
補助金採択企業など

⑤観光マップ



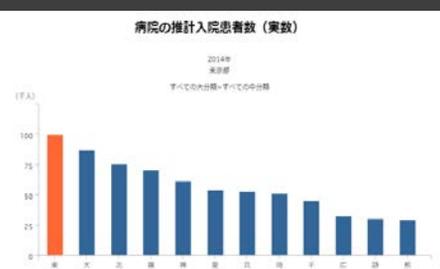
国籍別の外国人の滞在状況や、
宿泊者の動向など

⑥まちづくりマップ



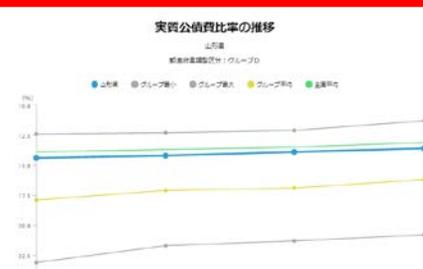
人が多く集まっている場所や事業
所立地の動向など

⑦雇用／医療・福祉マップ



地域の雇用や、医療・介護の需
給など

⑧地方財政マップ



各自治体の財政状況など

全 8 1 メニュー

※ 2017年2月末に
メニューを追加しました



まんがのブックレットも
公開中です！

“RESAS” で検索

RESAS

検索

(<https://resas.go.jp/>)

～RESASについて誤解していませんか？～



誤解その1 『担当業務には関係ない』 『RESASを使うのは一部の自治体職員だけ』

- ・RESASは「便利なツール」。自分でグラフ作成が不要なので、様々な分野について、他の地域と比べながら調べるのがかなり楽
- ・観光関連の民間データも、RESASなら無料。
- ・自治体以外にも、商工団体、地域金融機関、民間企業、教育機関、地方議会関係者など、様々な方がRESASを利用。

誤解その2 『自治体職員向けのIDがないと利用できない』 『閲覧できるブラウザはGoogle Chromeだけ』

- ・ほとんどのRESASメニューは、「誰でも」「ログイン不要で」「インターネットで利用可能」
※自治体職員向けのIDが必要な限定メニューはごく一部
- ・Internet Explorer (IE)でも利用可能

誤解その3 『以前一度使ってみたが、その後は見たことがない』 『活用事例などが分からない』

- ・当初の25から81種類にメニューが拡大。さらに、ダッシュボード（保存）機能や地図の検索機能を追加するなど、以前よりも便利になっている。
- ・RESASサイトには、オンライン講座や分析・活用事例など、関連サービスも充実。各地の経済産業局では出前講座も実施中。